

# コミュニティ ふたつ

私と人とまちの間に

2026.JAN  
146号

1

編集発行

公益財団法人 草津市コミュニティ事業団



もくじ CONTENTS

FEATURE

## あのワクワクを子どもたちに。

- 2 走れ! かきぐるカー NPO法人 うごくずこうしつ
- 4 川は、ギョ〇〇ギョ〇〇ギョ〇!? であふれてる くさつ de ギョギョ魚
- 6 まち語り 一枚の写真
- 7 ご近所まんが くさつがわ家とお隣さん ~これって、みんなの問題~
- 8 もじうめスッキリ  
事業団からのお知らせ  
ボイス

で〜っかく描いて!

「あ〜、これこれキミたち、人のクルマに落書きしちゃダメ〜」。いえいえ、このクルマはいいんです。いや、むしろ、そのためのクルマ。かきぐるカー。なんともユニークですね。それにしても子どもたちの想像力・表現力には驚かされます。ぐるぐる・びゅんびゅん・によるによる…。さあ、みんな、で〜っかい絵を描いてね。かきぐるカーの誕生日は次頁へ。

あけましておめでとうございます。今年もご愛読お願いいたします。国ノボ障スポでスポーツに沸いた昨年に続き、今年も熱い一年に。冬季五輪に世界野球WBCそしてサッカーW杯が開催。秋にはアジアパラ競技大会が名古屋で開催されます。世界水準のスポーツが楽しめる2026年。今から「推し」の選手やチームをつくっておくとさらに熱くなれること請け合いですね。

子どものころに夢中になったアソビ、って誰にでもあるもの。  
でも、大人になると日常の忙しさに追われて、そんな思い出もすっかり忘れてしまっている毎日。

ところが、何かのきっかけで「ふと、思い出す」なんて経験したことはありませんか。きっとその情景は幼い日の思い出というだけでなく、あなたを形作った原点の一つ。

草津には子どもたちに、そんな夢中になる「あそびじかん」を創つてくれる大人がたくさんいます。

さあ子どもたち、大きな絵を描いてみよう！川に行ってみよう！



FEATURE

# 走れ！かきくるカー

NPO法人「びびくずびび」

代表 村井優紀さん(32歳)



子どもの頃、お絵かきやラクガキに夢中になったこと、覚えていますか？  
落書き帳や画用紙に、チラシや折り紙の裏に、教室の黒板に。中には道にケンケンパや迷路、長い線路を描いて遊んだ…なんて人もいるのでは。どこに描こうが、なにを描こうが、「どうしてあんなに楽しかったんだろう」というくらい夢中になったものです。  
今、あの楽しさを子どもたちに届けてくれる夢のクルマが、ここ草津を走っています。明日はあなたのまちにやってくるかもしれない。

## 子どもに囲まれるクルマ

「前から見たらクルマ、横から見たら黒板、これなんなんだ？」  
真剣に考えてくれたあなた、すみません、残念ながらもぞぞじゃありません。実はこれ、ホントにあるクルマ。

キラリエで、de愛ひろばで、口クハ公園で、と市内のあちろちろらのイベントに駆けつけては、子どもたちの笑顔に囲まれるクルマです。

その名も「かきくるカー」。軽トラの荷台三面に大きな黒板が付いたなんとユニークなクルマです。黒板いっぱい描かれた子どもたちのチョーク絵が良いアクセントになって、元気も愛も倍増。

この「かきくるカー」を運転？いや運営するのはNPO法人う

ごくずこうしつ。中心となる村井優紀さんと柴山里穂さんは元小学校の先生などうか。うん、興味津々です。代表の村井さんにお話を聞きました。

## 移動型ごくずこうしつ

## お絵かき大好き子

団体名でもある「ごくずこうしつ」とはその名の通り移動型の図工室。画材や材料をつんであなたの街までやってきます。かわいい「かきくるカー」で駆けつけ、クルマに乗せた黒板や地面におもいつきりお絵かきできます。

そんな村井さんは草津で生まれ育ちました。もちろん、小さなころからものづくりや絵を描くのが大好き。  
「外で遊ぶのも好きでしたが、お絵かきしたり、ダンボールハウ入で遊んだり、とにかく何かをつくるのに夢中な子でした(笑)。絵は見るもの、思いつくもの、なんでも描いてました。描いたら家族に見せるんです。すると、褒めてくれるもんだから、また嬉しくなっちゃって(笑)」

山さんはチョークアートでお店

お絵かき大好き少女はすくす





村井優紀さん

く育ち、大学生になりました。その頃に興味を持ったのが、子どもたちの居場所をつくるNPOの活動。体験や表現活動、夏には子どもたちを連れたキャンプなんかも企画しました。学校でも家でもない居場所、のびのび自分らしくいる子どもたちと過ごした時間は貴重な経験となり、少女は教師の道へと歩んだのです。

### アートって、スゴいな！

9年間の教師生活で忘れられない経験があるという村井さん。それは特別支援学級を受けもつた時のこと。

「その児童は、踊ったり絵を描いたりして自分を表現することが大好きだったんです。ただ、自分の気持ちを言葉で伝えることが少し苦手です。学年が上がるにつれて同級生との関わりも減ってしまっていて。彼女の思いや表現をみんなにも知ってほしいと

思つて、これまで描きためてきた作品を集めて、校内で個展を開いたんです」

結果は村井さんの想像をも超えていました。クラスの友だちはもちろん、他学年の友だちも作品を覗に来てくれ、「すごい！」「この作品がすき！」「自然にながりが生まれていきました。その中心には、にっこり嬉しそうなのが彼女の姿。また、親御さんも自分の子の表現に驚き、そして大変喜んでくれたのだとか。

「たとえ言葉にすることが苦手でも、絵で自分の思いや自身を表現した彼女の姿に、アートの秘められた力を再認識した気持ちでした。アートってやっぱりいいなって(笑)」

### 誕生！かきくるカー

忙しく教師の仕事に追われる日々。大学時代の居場所活動や特別支援学級での経験から「それぞれの子にあったカリキュラムを」と考えていた村井さんですが、当然、学校には色々な制限もあつて難しいのも事実。

そのころ、教師仲間でも歳近かった柴山さんと居酒屋でたくさんのお話を話したのだとか。「子どもの居場所をどこかに

作るより、こつちが会いに行くっていうのは？」「どうやって？」「クルマで…とか？」「そういうええ、おしいちゃんの軽トラが使えるかも！」「軽トラに黒板つけるのとかどう？」「いいね、それ！」

### 体よりも大きな絵

今日も「かきくるカー」は子どもたちの人気者。まったくイメージ画のとおりです。黒板や\*道路に子どもたちは夢中でお絵かき中。

「昔と違って今は道路での落書きもできないですよ。自分の体よりも大きな絵を描ける場所ってなかなかない。だから私たちは家でも学校でもないけど、安心して遊んでいいよって保障されている場所づくりをしたいな、って思っています」

### みんなで一緒に

「うごくぞうしつ」はまた一歩、前進します。昨年10月にはNPO法人になりました。

「活動できる場所を広げて、もっとたくさん子どもたちが

安心して笑い合えるようになつて欲しいです。でも今の私たちの時間とお金ではほんの少ししか応えられなくて……。

活動を手伝ってくれる人、イベントに呼んでくれる人、ご寄付や業務発注で協力いただける人など、より多くのおみなさんに関わってもらいやすいように、思いきつてNPO法人になりました。みんなで一緒に子どもたちの笑顔を広げていけたら嬉しいです」



かきくるカー。とってもかわいいネーミングですね。「かきにいくよ!クルマで」「かきにおいでよ!クルマに」から付いたのだとか。かきくるカーは今日も草津のまちを走っています。

活動の様子は、えふえむ草津 草津市コミュニティ事業団提供 「くさつ☆コミュニTea Time!」 オンデマンド放送でもお聞きいただけます。 第72回 2025年9月放送



\* 許可なく道路に落書きすることは法律違反や近所迷惑となります。「うごくぞうしつ」が提供する路面でのチョーク遊びは十分に安全に配慮した上で主催者や管理者の許可を得て実施しているものです。また、消せるチョークを使ってイベント後には現状復旧するので安心して遊んでいただけます。



HP

NPO法人 うごくぞうしつ

Instagram



# 川は、キョキョギョ!? であふれてる

## くさつ de ぎよぎよ魚

鈴木剛志さん(53歳)  
濱道秀さん(57歳)  
西井真敏さん(55歳)



あなたが最後に川に入ったのって、いつですか?  
水の冷たさ、タモをすくうときのドキドキ、魚を捕まえた時の喜び、手に残る鼓動の感触……今でも覚えていますか。  
私たちの生活から川が遠い存在になりつつある今、子どもたちに川でのギョギョとする驚きと感動を伝えてくれるおじさんたちがいます。

「くさつ de ぎよぎよ魚」。おじさんたちは今日もどこの川で、子どもたちと一緒にです。



### じゃ、川に集合

11月中旬の午後3時。駒井沢町を流れる中ノ井川に小学生とそのママたちが集まってきました。出迎えるのは50代のおじさん3人組。ライフジャケットと釣竿を渡された子どもたちに「餌をつけれたら川に垂らしみて。竿は立ててね」。おじさんたちの説明に子どもたちは、おそろのおそろ糸を垂らし始めました。

「釣れた〜!」と告げにきた子を合図に、あちらこちらで魚が上がりだしました。モロコ・ヨシノボリ・ドジョウ……バケツの中が魚で賑わっていきまます。釣れたら我がことのように喜び、釣れない子には一緒に糸を垂れてくれる、3人のおじさんたち「くさつ de ぎよぎよ魚」の鈴木さん、濱道さん、西井さんです。

### 魚はいるのに、子どもがいない

代表の鈴木さんは草津で生まれ育ちました。子どもの頃の遊び場はもちろん川。

「釣りはその人の性格が出る」と言われるとおり、辛抱強く同じ場所で待つ子、すぐに飽きてしまふ子などマチマチ。最初は覚束ない足取りで川辺を歩いてた子は慣れてきたのか、器用に走りながらマメに場所を変えています。

「学校が終わったらランドセルを置くや否や葉山川や伊佐々川に入って友だちと遊んでました。剣道やサッカーもしたけど、やっぱり川が一番でしたね」

濱道さんは北海道生まれ。縁あって20年前に草津に越してきました。

「父の影響で小さいころから川で溪流釣りをしました。そのせいか、魚が大好きで草津に来てからも琵琶湖博物館で魚の勉強や調査をするボランティアもしています」

そんな2人が出会ったのは濱

道さんがマスターを勤めるバーに鈴木さんが飲みに来たこと。「すぐその川に鮎がいたよ」。魚好き川好きの2人はお魚談議で盛り上がったのだとか。酒の肴は魚の料理でなく、魚の話だったのですね。

鈴木さんです。「大人になった今でも、川を見かけると橋の欄干からジッと川の流れを眺めてしまふのがクセなんです。周りから見ればさぞ不審でしょうね(笑)。まちなかの川にも魚はちゃんとして、慣れると泳いでいる姿が橋の上からも見えるんです。それで、ふと気づきました。川に魚はいるのに、子どもの姿がないなって」

濱道さんが続けます。

「今の子どもたちは塾や習い事で忙しいでしょ。親御さんも働く人が多くて時間の余裕が少なくなっています。それに、川は子どもたちだけで行くのは危険だと言っんで、川に入れないし遊ぶこともできない。子どもたちと川の距離はどんどん離れていっています」

そこで「親御さんが連れていけないなら、僕らが連れて行けば



いいじゃないか」と話がまとまったのだとか。以前から知り合いだった同じく魚好きの西井さんも加わり、かつての川ガキだった3人の活動「くさつ de ぎよぎよ魚」が始まりました。

### ぎよぎよ魚

それにしても「ぎよぎよ魚」とはユニークな名前です。

「発見のぎよ、驚きのぎよ、魚のぎよ、から付けました(笑)。川に行くとき毎回、ギョギョとすするような発見や体験があります。子どものころ、川で草むらの下なんかを網ですくうと、ギョッとする生き物なんかを見つけたりしてね。そんなドキドキやワクワクを子どもたちに体験してもらいたい」と鈴木さん。

今、ぎよぎよ魚は月2回のペースで子どもたちと自然体験をし



ています。

「5〜10月くらいは川に入つて魚とり。夏にはエリ漁の船に乗せてもらうなど琵琶湖ならではの体験もします。川の水が冷たい春は山菜取り、冬にはプチキャンプと年中、子どもたちと外遊びしています」と鈴木さん。

「草津は琵琶湖や里山もある自然に恵まれたところ。山まで行かなくても、川の少し上流の堤防なら山菜もあるんですよ」と濱道さん。

### 草津でお宝発見

川遊びと並んでぎよぎよ魚の大切な活動が川の生き物調査です。市内で魚とり体験をしながら、どこの川にどんな魚が生息しているのか、マップを作っているのだとか。

鈴木さんです。「2時よりも水はきれいになってきてますが、40年前と比べると魚の種類は減っていますね。タナゴなんか見かけ



なくなりました。それでも『またこんな魚がいてくれた。戻ってきたくれた』って時はお宝発見のよ

うな気持ちです。逆に『この外来魚がここまで上ってきているのか』なんて驚く

こともあります。

行政の皆さんにはぜひ伝えてい

いですが、川の声を聞いていますか?。コンクリート三面張り

は管理上仕方ないことかも知れませんが、未来の草津に住む人々のためにも貴重な自然や生態系をどう守っていくのか、生き物をどう増やしていくのか、市民全員で考えていかななくてはいい

ないなと思います」背筋が伸びました。子どもたちに、ふるさととなる川の姿を残すのは、私たちみんなの役目ですね。

### 川で学ぶ、川に学ぶ

鈴木さんは言います。

「川つてだいたい、左右が堤防になつて一段低くなつてでしよ

わりと遮られるから意外と集中しやすい空間なんです。ここで子どもたちにはたくさんのご

とを知ってほしい。水の冷たさ、葉っぱで手が切れてしまうこと、川に落ちると大変なこと、命を

粗末にしないこと……。自然の中で自分自身の身を

守つたり、危険を察知して回避するなど貴重な経験を積める場所

です。子どものうちに経験しておくべきことはたくさんあります。川は危険な場所」と過敏になつて極端に遠ざけてしまうのもどうかと思います。そのうち、子どもだけで自転車で魚釣りに

きてくれたらいいなあ」

### 私の子育て

2人は活動への想いを語つてくれました。

「子どもって昔も今も変わりませんよ。楽しければ笑顔ではっ

ちやけてる(笑)。私たちは

実際の子育てこそ経験はありませんが、子育てしているつもりで子どもたちと川

にいます。だから危ないことをしたら叱るし、良いことをしたら誉める、それだ

けです。私たちも子どもころは近所の大人によく怒

られたもの。昔はそんな大人がいつばいいてくれました。

今は他人同士のコミュニケーションが難しく、世知辛い世の中でもあります。地域の人みんな子育てができるまちにしていきたい

ですね。子どもたちには魚でも川でもプラモデルでも良い、何か自分で好き・楽しいって思えるものを見つけてもらいたい。そんな

きつけかけになれば良いですね」

鈴木剛志さん

濱道秀さん

とは言うものの、3人が川で子どもたちを見守るのは今の人数が限界なのだとか。ぎよぎよ魚は今、一緒に活動をしてくれるメンバーを募集中! あなたも草津でギョギョギョな体験と感動を味わいませんか? かつての川ガキさんも川の初心者さんも、お待ちしております。

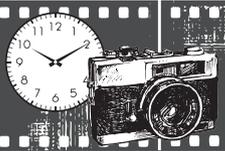
活動の様子は、えふえむ草津草津市コミュニティ事業団提供「くざつ☆コミュニティTea Time!」

オンデマンド放送でもお聞きいただけます。第55回 2024年4月放送



くざつ de ギョギョ魚

# まち語り 一枚の写真



まちのあらゆる場面で培われてきたコミュニティの形。その一瞬を捉えた一枚の写真から「これから、のコミュニティを見つめます。」

## 木造2階建ての 草津市役所

現在の草津市役所庁舎は、平成4年(1992)5月に新築され築34年を迎える8階建ての建物です。それ以前は、昭和33年(1958)に建築され、昭和47年(1972)に増築された庁舎が現庁舎の隣接地にありました。

今回の「一枚の写真」はさらに前の時代のもので、昭和29年10月に1町5村(草津町、志津村、老上村、山田村、笠縫村、常盤村)が合併し「草津市」が誕生した当時の市役所の様子です。

この建物は合併前の草津町役場をそのまま使用しており、木造2階建ての入口に「草津市役所」の看板が掛けられている点に、時の移ろいを感じさせます。当時はこれに加え、各村の旧役場をそれぞれ支所として利用し、行政運営を始めました。

写真の場所は現在の市役所にほど近い市道沿いに位置し、民間会社の所有地となっています。旧東海道には面していませんが、江戸時代にはこのあたりに草津村の年貢米などを蓄えておく「郷蔵」や「文書蔵」などの共有地がありました。江戸時代から長く公共の土地として引き継がれた背景があったのです。

文 草津宿街道交流館



### ひとまちキラリ2025

## まちづくり活動助成採択団体・イキイキ活動賞授賞 決定!



草津市コミュニティ事業団では市民による自主的・公益的なまちづくり活動提案に助成しています。今年度は次の7団体への助成が決まりました。また長年にわたりコツコツとこれまで続けてこられた活動に「ありがとう」の気持ちを伝える活動賞も授賞団体が決まりました。

#### ひとまちキラリ助成

- はじめの  
いっぽ
  - 気まぐれグラン・マ
  - じもと食堂U-LAB.クラブ
  - 親子音楽サークルわんだふる
- そのさき  
いっぽ
  - スマイルリング
  - potential
  - 認定NPO法人くさつ未来プロジェクト(KMP)
- いっしょに  
いっぽ
  - 草津市災害ボランティアコーディネーター会
  - ×
  - NPO法人しがいち防災研究所

#### イキイキ活動賞

- いいね!  
地元の力
  - ゆうゆう老上
- なるほど!  
市民活動
  - 草津迷術会
  - よし笛サークル 紫音



草津迷術会



じもと食堂U-LAB.クラブ

問合せ (公財)草津市コミュニティ事業団 草津市大馬路二丁目1-35 キラリエ草津5F  
 ☎ 565-0477 📠 565-0411 🌐 まちサボくさつ <https://www.kusatsu-spp.net/>



## SUMAIDIA SDGs

環境のために、社会のために、私たちができること。

スマイディア(旧:スマイ印刷)は、「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同します。

「関わる全ての人をSMILEに」という理念のもと、事業活動と社会貢献活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献します。

SUMAIDIA 株式会社 スマイディア (旧:株式会社スマイ印刷) [sumaidia.jp](https://www.sumaidia.jp) [@sumaidia\\_jp](https://twitter.com/sumaidia_jp)



## 株式会社 三井田商事

### 経営理念 迅速・確実・親切

弊社は2019年度からSDGsへの取組をスタートさせ、それを基盤にして社会貢献を通じて地域から愛される企業に成長していきます。清掃活動等で弊社社員は地域の皆様に大きな声で挨拶をします。

また、弊社は61周年を迎え、改めて今後も永続的に地域の皆様と共に成長していきたいと考えております。

滋賀営業所 / 〒525-0050 滋賀県草津市南草津2丁目7-16  
 TEL:077-598-1611 FAX:077-598-1651

ご近所まんが

## くさつがわ家とお隣さん ～これって、みんなの問題～

かれこれ40年の「ふれあいタウン」。  
どこにでもあるようなこの町で、今日も繰り広げられる  
今ドキご近所のちょっとこなれた毎日。  
楽しくも少し考えてしまう。  
もしかして…これって、みんなの問題かも。

他のおはなし▶



## 見なかったことに…



さく・com-com / え・まんじゅう

第3回

# 子育て応援フェスタ

2026 **2.21** (sat)  
9:30 - 13:00

会場 **キラリエ草津 5F・6F**  
草津市立市民総合交流センター  
(JR草津駅から徒歩約5分)

出会いとつながりで子育てを応援!

マルシェ・ワークショップ・体験ブース・スタンプラリー  
など親子で楽しめる企画が盛りだくさん。  
“草津市”と子育て支援団体まちのコミュニティハブ  
ツナグが協働で開催する子どもの成長と子育て家族を  
応援するイベント。  
ぜひご家族でお越しください。



子育て応援フェスタ(第1回)動画



詳しくはコチラ

地域の架け橋  
コミュニティ  
コミニタス

コミニタス  
comini+

草津市周辺の子育て中の女性が集まった地域密着コミュニティ。  
私たちが、地域女性と企業・行政の懸け橋となります。



Address

〒525-0032  
滋賀県草津市大路  
1-4-12  
大丸ソイビル202号室

ホームページ



読売新聞



今こそ新聞を読む



読売センター草津西 / 有限会社 雄  
〒525-0029 滋賀県草津市下笠町 1306-2 TEL:077-568-1165 FAX:077-568-3205  
ホームページは、[読売センター草津西](#)で検索！ または、今すぐ右のQRコードにアクセス！





草津のまちづくりを応援!!  
まちサポくさつ



コミュニティくさつ 2026年1月号

コミュニティ

2026 JAN 146号

編集 公益財団法人草津市コミュニティ事業団  
〒525-0032 滋賀県草津市大路二丁目1番35号(キラリエ草津)  
発行 077-565-0477 077-565-0411  
com-com@mx.biwa.ne.jp HP https://www.kusatsu.or.jp

管理 公益財団法人草津市コミュニティ事業団  
施設 草津クレアホール 564-5815 / 草津アミカホール 561-2345  
ログハ公園(草津市公園事務所) 564-3838  
長寿の郷ログハ荘 563-5021  
【懸字】中村明雄 【印刷】株式会社スライテック

3/8

# 草津歌劇団9期生 創作ミュージカル わたしはみんなの なかのわたし



～障害のある人もない人も楽しめるミュージカル～

第2部 ミュージカルショー くさつ花めぐり

3月8日(日) A 11:00開演 B 14:30開演  
草津クレアホール (草津市野路六丁目15-11)

入場料 おとな 1,000円(当日1,500円)/回  
高校生以下 500円(当日1,000円)/回  
※全席自由

問合せ・申込 草津アートセンター 9:00~17:00  
☎561-6100 ☎564-5851  
☑bunkahall@kusatsu-art.center

草津アートセンターHP



## もじうめスツキリ

寒さもあと少し。春がやってきます □に入る文字を考えてね。

問

- バレンタインデーのお返しに  
ホ□イトデー
- 草津ブランドにもなっている春野菜  
琵琶湖元気アス□ラ
- さあ、今日からピカピカの1年生  
にゆうが□しき
- お殿さまやお姫さまの時代行列もある  
草津しゆく□まつり
- 日ごろの感謝を伝えよう  
は□のひ

### 応募方法

右の応募フォームから①答えの5文字②住所・氏名・年齢・電話番号③今号の感想を添えてご応募ください。ハガキ、FAX、メールでのご応募もお待ちしています。

応募フォーム



※切 1月30日(金) 必着

宛先 〒525-0032  
草津市大路二丁目1番35号(キラリエ草津)  
(公財)草津市コミュニティ事業団  
「コミュニティくさつ1月号」係  
☑ com-com@mx.biwa.ne.jp ☎ 565-0411

### プレゼント

応募いただいた中から抽選で、松利老舗(草津3丁目)で利用できる優待券(1,000円相当)を5名様にプレゼント



松利老舗HP



## ポイント

施設を利用するみんなの声と笑顔をお届けします。

## 私のトップニュース2025



クリア・アミカホール

キラリエ草津

キラリエ草津

ログハ荘

ログハ公園

「コミュニティくさつ」の経費(企画編集、印刷、折込など)は1部あたり15円です。この経費は事業団が行う公共施設運営管理(指定管理)などの経費縮減などで得る独自の収益金のほか草津市からの補助、市民の皆さんからの寄付および本誌に掲載している企業等の広告でまかっています。

